

東北大学と日本の eduroam について

後藤英昭[‡] 今井哲郎[†] 曾根秀昭[‡]

東北大学情報シナジーセンター[†] 最先端学術情報基盤研究室（[‡]兼務）

東北大学情報シナジーセンターは、国立情報学研究所 (NII) および 7 大学 (北海道、東京、名古屋、京都、大阪、九州、東工大) の協力の下、平成 18 年 8 月 31 日に eduroam (エデュローム) に加盟しました。またこれと同時に、日本国としても eduroam に加盟を果たしたことになります。

eduroam は、ヨーロッパ諸国間で教育研究機関ごとの無線 LAN システムを相互接続したことに端を発し、現在はヨーロッパ 29 ヶ国の他、アジア太平洋地域 (Asia-Pacific) ではオーストラリア、中国、台湾、香港、日本が加盟している、国際的な無線 LAN ローミング基盤です。アメリカ合衆国におけるインフラである FWNA (Federated Wireless NetAuth) も eduroam と接続されており、eduroam は無線 LAN ローミングの国際的なデファクトスタンダードになっています。

日本の eduroam への加盟は、全国共同電子認証基盤 (UPKI) 構築事業のプロジェクトの一つとして実現したものです。UPKI 事業に参加している幾つかの機関を平成 18 年度中に eduroam で結び実証実験を行うという計画が、現在進行中です。情報シナジーセンターでは、全国に先駆けて eduroam に参加するために、東北大学のトップレベルのサーバに加えて、日本のトップレベルの RADIUS サーバ (JP Top Level RADIUS Server) の一部をホスティングしています (図 1)。また、UPKI 構築事業の一環として、NII と共同で国内教育研究機関の eduroam 参加の推進および支援も行っています。

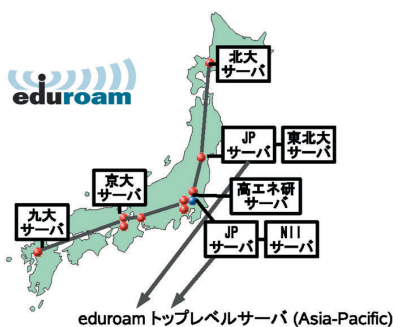


図 1：国内の eduroam サーバと海外接続 (2007 年 1 月現在)



図 2：eduroam 対応アクセスポイントの例

国内の eduroam は eduroam.jp と呼ばれ、現在、国立情報学研究所連携本部認証作業部会 eduroam グループが主体となって運用されています。eduroam.jp に関する様々な情報は以下のウェブサイトで入手できます。

- eduroam.jp ポータルサイト <http://www.eduroam.jp/>
- UPKI イニシアティブ <https://upki-portal.nii.ac.jp/>

国内の多くの教育研究機関が eduroam に参加することを期待しております。